

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 水野賀績
 幹事 小山雅弘
 会報委員長 長門保明

No. 26

友達になろう BE A FRIEND

1994~95年度 RI会長 ビル・H・ハンドレー

きょうの例会

第603回 平成7年1月31日(火)

節分会 (午後6時)

於: 松林寺

先週の記録

第602回 平成7年1月24日(火)曇とより雨により

◇ “奉仕の理想”

◇ 黙禱

◇ 水野(賀)会長挨拶

1. 黙禱

阪神大震災で亡くなられた方々と千種ロータリークラブ物故会員の冥福を祈って……

R.Iでは、創始者ポール・ハリスの命日にちなんで、1月24~30日を追悼記念週間として、物故ロータリアンの追悼をすることにしているが、千種クラブでは、堀場利幹君、古川勝己君、武内清君、加藤敏昌君の4名の方が在籍中にお亡くなりになりました。

2. 義援金

1月17日の兵庫県南部地震の被害は、日を追うごとに拡がり、今日現在、死者5,060人、行方不明102人、負傷者26,284人と報ぜられ、戦後最大の被災状況となりました。

喪心より御冥福を祈り、御見舞い申し上げますと思います。先の例会で義援金をお願い申し上げましたが、被災状況も当日とは大きく変わってきており、(西野社会奉仕委員長からの申出もあり)、再度お願いするものであります。尚本日の理事会で、特別基金積立金から30万円拠出の承認を得ましたので、合わせて、当クラブの義援金として寄付させていただきます。

3. 名古屋第二分区内のIAC、LACの設立提唱について

1月20日、第二分区の(8クラブ)会長、幹事、青少年活動委員長会がありローターアク

トクラブ、インターアクトクラブの設立に向けて、分区内クラブが協力し合って積極的に検討するようガバナーから要請がありました。2月に本題について再度会合がありますので、御意見のある方は、是非お聞かせいただきたい。

◇出席報告

会員	69(68)名	出席	55名
出席率	77.94%		
前回	1月17日(修正出席率)	98.53%	

◇ニコボックス

紙面の都合により次回掲載させていただきます。

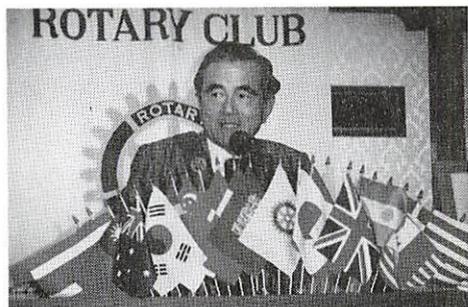
◇小山幹事報告

1. 本日例会終了後、IM運営委員会を開催致しますので担当者は2F橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会は、節分会で、午後6時より松林寺にて開催致しますので昼間の例会はごさいません。

◇講演

“長寿と健康”

会員 竹内 眞三君



「長寿」と「健康」というテーマで話すようにプログラム委員会から指名されました。

大変に難しい問題です。「長寿」のためにはどうしたらよいか、「健康」のためにはどうしたらよいかといった話はもっともらしく色々世間に流布しています。これは余りストレートに取り組みますと面白くありませんので角

度を変えて申し上げようと思います。正月早々に私の友人の医者我突然に死亡しました。それまで全く元気にやっていた男でした。病名は「心不全」という事でした。明解なる原因が判らないから「心不全」なのでしょう。未だ68才でした。それに引き換え、昨年(1994)の2月初め、私は母を91才で亡くしました。伴が医者なのに知り合いに「私は医者にも診てもらへん」と云い出すので友人に形ばかりでよいから血圧と脈拍を診てやってくれと依頼して、最後、「老衰」で亡くなりました。

いつも申し上げるのですが「寿命」の反対が「死滅」です。健康の反対は、病気即ち不健康です。お間違いのない様に申し上げれば「寿命」の事は医者(先生)の領分ではない。実は宗教家としての西村君や舎人君の常々感じておられる世界でしょう。「健康」の問題。現にこうして呼吸してああでもない、こうでもないといっている現在の私共の「生」が文字通り“生き生きとして”おるかどうかに医者は関係致します。呉々も医者はその人々の「痛み」だとか「苦しみ」だとかを多少和らげる工夫をする事を仕事としていてるのであって、その人その人のもてる寿命には関与できません。その抜苦与楽のための便法として「血液や小便の検査をしたりレントゲンをとったり近來著しく発達したM.E (Medical Electronics) 機器を駆使したり、場合によれば手術と称して悪い処を切除する或いは置換する。又和洋の薬を使って体の機能を賦活してやる」といった事に終始するわけであります。その結果はどうかといえば「よく眠って疲れを癒し又、適当に肉体を駆使する事をすすめ程々のStressを課して精神の弛緩を引きしめ、且つ又それらのエネルギーの元となる食事のバランスを考える」事等を人々に奨めるのであります。問題は何が“程々”とか“適当”とか“バランス”なのかという事でありませぬ。

最近よく「過労死」という言葉をききます。一体何をもって過労というのか私には分かりませぬ。40才代の私は職種柄一年365日の中、通して6時間以上眠った事はありませぬでしたし、又3日位徹夜に近い状態で仕事をしてむしろそれを生き甲斐にしておりましたが今もって生きて居る処をみますと当時自分でも“過労”“働きすぎ”を感じながらも実際は過労ではなかつたのかも知れませぬ。「過労死」の言葉には死に対する嚴肅なる哲学が欠けている様に思えてなりません。「娑婆の縁つきなば彼の土へは参るなり」との古聖人の言葉があります。どんなに注意して健康であろうとつとめても思わぬ「病氣」に侵されます。病氣になつても「娑婆の縁」ある限り決して死ぬませぬ。その処が本日のお話の眼目であります。諸種の健康法があります。ロータリーの友にも毎号「健康ひとくちメモ」の欄があります。

一々もつともだと私は考えております。しかし百家争鳴の感がありますので全部実行するわけにもいかずどれをとつたらよいか迷います。結果各人適宜採用して「鯛の頭も信心から」を決め込む事となります。

結論を申し上げます。「病氣にならぬ健康法」はありません。誰でも病氣になります。「不摂生」をしても病氣に「なるのとならない」とあります。「気をつけて」いても病氣に「なるのとならない」とあります。だから煙草をすつても肺癆にならぬのが居る一方で一生無煙の人が肺癆になります。横山大観の如く朝から酒を飲んでいても80才まで生きる男がいるかと思えば下戸の癖に肝臓を悪くして死ぬ男もいます。

要は「どうしたらよいか」の方法論ではなくて受け手の各個人の問題となります。長命の人必ずしも健康とは限りませぬ。始終病氣ばかりしながらも結果として長生きしてしまつたという例は幾らでもあります。多分本日の命題は“あんなに丈夫な奴がポッキリ逝つてしまつた”といった例に鑑みて何かよい長命法はないかという事でしょう。私は斜に構えて“そんなもんありません”と敢えて申し上げます。密かに医者がそんな妙案を蓄えているならば医者の平均寿命は100才を超えるでしょう。秦の始皇帝ですら出来なかつた事を出来る筈もありません。

最後に 病む時は病むが宜しく候
死ぬ時は死ぬが宜しく候 を
結論としてこの珍粉漢な話を終わります。

◇1月度理事会議題

1. 新入会員候補者承認の件
2. 1994~95年度上半期決算報告の件
3. 特別基金積立金拠出の件
4. ロータリー90周年例会の件
5. 青少年活動委員会の件
6. 次年度ロータリー財団委員長の件

◇例会変更のお知らせ

- | | |
|---------|---|
| 名古屋南RC | 2/8(水)創立記念例会の為、
観光ホテルにて18時より |
| 名古屋和合RC | 2/8(水)夜間例会の為、ホテルナゴヤキャスルにて |
| 名古屋港RC | 2/!0(金)I.D.Mの為、クレ
ストンホテルにて18時より |
| 名古屋空港RC | 2/13(月)東尾張分区IM参加
の為、2/12(日)名鉄犬山ホテル
にて13時半より |
| 名古屋中RC | 2/13(月)第2回親睦例会の為 |
| 名古屋名南RC | 2/14(火)4RC合同例会の為、
観光ホテルにて18時より |

◇次回例会(2月7日)

- 講演“心筋梗塞の予防について”
藤田学園保健衛生大学 教授
水野 康代 (紹介 和田君)